

助かる命が助からない 医療崩壊の危機！

大阪は新型コロナの感染急増が続き、「ベッドは満床に近いギリギリの状態だ。助かる命が助からない『医療崩壊』の瀬戸際」(近大病院東田病院長・大阪日日 12月10日付)、「すでに一部で医療崩壊が起きている」(府医師会茂松会長・読売新聞 12月8日夕)と指摘されています。

山中教授の心配を無視した結果……

山中伸弥教授は大阪府の感染状況が深刻だった8月13日のブログで、科学的な指標を元に「現在の限定的な対策で乗り切ることができるのか心配」とコメントされていました。しかし、維新はその心配や私たちの声を無視して「住民投票」を強行、投票日前に感染者が急増し現在に至っています。維新の責任は重大です。

PCR検査数の抜本的拡大、無症状の感染者を 発見・保護を！医療機関への経営支援が急務！

松井市長は「バーチャル大阪都」だと言い、大阪市独自のコロナ対策を怠ってきました。大阪府の感染者



数の中で、大阪市内は半数以上を占めます。一方、PCR検査の実施件数は3割に過ぎません。私たちの3項目の要望を含め大阪市内での対策強化は急務です。署名へのご協力をお願いします。

許すな！「住民投票」での市民の結論を踏みにじる「広域一元化」「8区総合区」

法的拘束力がある「住民投票」の結論を踏みにじり、賛成票が半数近くあったことを理由に「条例」で大阪市の権限と財源を奪い、さらに「合区」を強行する「総合区」など、民主主義を破壊する「ヘリクツ」であり、許してはなりません。



「都構想」敗退で、維新の 「求心力」のため！？

「早期に『ポスト都構想』の戦略を示さなければ結束が弱まる懸念がある」(日経新聞)から、投票直後に「広域一元化」条例を言い出した！？

結局、維新の会の保身のための「制度いじり」、市民をバカにした話です。

大阪市・松井市長は

コロナ対策・市民の
くらしし応援を！

